

映画を通じて八尾市の魅力を全国にPRしようと、八尾市は10月、市観光・文化財課に「八尾市フィルムコミッション(FCC)」を設けて活動を始めた。市出身の俳優、青木崇高さんの郷土愛がきっかけとなった活動で、ロケの誘致と並行してエキストラ出演などのボランティアを募集しており、市民総出の活動を目指すという。

映画ロケの誘致で、市内の町並みや歴史遺産などの地域資源がスクリーンに映し出され、八尾の魅力が全国

・世界に発信できることを狙った。新たなにぎわいの創出や、2025年の大阪・関西万博に向けてのインバウンド(訪日外国人)など観光客誘致も見据える。

市は22年3月までこの活動に取り組む市民ボランティアを募集している。映画の端役出演(エキストラ)▽ロケ地にふ

市民総出!?

映画で八尾の魅力PR

ロケ誘致や端役出演で盛り上げ

地元出身・青木さん提案 **市がFCC設立**

さわしい自然や建造物など地域資源の情報収集(60人程度)▽撮影現場での補助活動(選考で50人程度)▽機材や物品を貸与、提供する市内の事業者――で、市は「市民総参加で盛り上げたい」としている。

活動は「八尾の魅力大使」を務める青木さんが約2年前、大松桂右市長に提案したことがきっかけという。市内の商業施設で23日、FCCの活動開始を記念するイベントが開かれ、青木さんがト

クセッションに登壇。ロケ地の一例として八尾空港を挙げ「協力していたら可能性はある。うまくいき、映画で流れたら心が熱くなると思う」と期待を寄せた。大松市長も「八尾が舞台となる映画を目指したい」と協力を呼び掛けた。

【上野宏人】

八尾市のフィルムコミッション活動について語る市出身の俳優、青木崇高さん(八尾市のアリオ八尾で)

